

研 究 計 画 申 請 書

令和 8 年 4 月 16 日

地域医療機能推進機構三島総合病院
研究倫理委員会委員長 様

申請者名
(研究実施責任者) 山田 なつ紀 

※ 受付番号 R8-05

注意事項 ※印欄は記入しないこと

1. 研究課題名 地域包括ケア病棟への入院選択判断過程における医療ソーシャルワーカーの役割 —医療・福祉連携支援モデル構築のためのミックスメソッド研究—
2. 共同研究者 (氏名及び所属) 該当なし
3. 研究などの概要 本研究の目的は、地域包括ケア病棟への入院相談における入院可否の判断に影響を及ぼす要因を明らかにし、医療ソーシャルワーカー (以下 MSW) の役割、医療と在宅支援の連携のあり方について検討することである。 対象は三島総合病院における入院相談記録とし、患者の基本属性、医療的要因、生活機能、社会的要因、本人および家族の意向、入院可否の結果等の既存データを用いる。これらのデータを用いて統計的に分析し、入院可否に関連する要因およびその特徴を把握する。 本研究は既存の記録情報を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな介入は行わない。データは匿名化し適切に管理する。なお、本研究は今後インタビュー調査を含む研究へ発展させる予定であり、その際は改めて倫理審査の申請を行う。 本研究により、入院相談における判断の実態を把握し、医療・福祉連携の質の向上に資する知見を得ることを意義とする。
4. 研究などの対象、実施場所及び期間 ①対象者 本研究の対象者は、三島総合病院において地域包括ケア病棟への入院相談が行われた患者とする。対象データは、当該患者に関する入院相談記録とする。 入院相談記録には、患者の基本属性、相談者の勤務先機関、職種、疾患や医療処置等の医療的要因、ADL や認知機能等の生活機能、家族構成や介護力等の社会的要因、本人および家族の意

向、入院可否の結果等が記録されている。これらは入院可否の判断に関与する要因を把握する上で必要な情報を含んでおり、本研究の目的に適合するため対象として選定した。

②実施期間

倫理審査委員会承認日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

5. 研究の対象となる個人の権利擁護

本研究は既存の相談記録を用いたものであり、対象者に対する新たな身体的・心理的負担は生じない。データは匿名化した上で取り扱い、個人が特定されないよう十分配慮する。

また、研究に関する情報を院内掲示等により公開し、対象者が研究への参加を拒否できる機会（オプトアウト）を保障する。拒否の申し出があった場合には、当該データを速やかに分析対象から除外する。

これらの対応により、対象者のプライバシーおよび自己決定権を尊重し、人権の保護に努める。

6. 個人情報の保護

個人を識別する情報を取り除き、新たに符号又は番号を付して匿名化し、対応表を作成する。外部記憶装置に保存し、適切に管理する。データへのアクセスは研究者本人に限定し、第三者が閲覧できないよう措置を講じる。また、データを外部へ提供することではなく、研究目的以外に使用しない。研究成果の公表に際しても、個人が特定されることはないよう十分に配慮する。

7. 対象者（本人及び家族）に理解を求め、同意を得る方法

（同意書も添付のこと）

本研究は既存の相談記録を用いた研究であり、対象者に対する新たな介入や追加の情報収集は行わない。そのため、対象者本人および家族に対する個別の説明および文書による同意取得は行わない。

代替手段として、研究の目的、方法、利用する情報の内容、個人情報の保護、研究への参加を拒否できる機会の保障等について、院内掲示等による情報公開（オプトアウト）を実施する。対象者および家族は、研究への参加を希望しない場合には申し出ることができ、その場合は当該データを分析対象から除外する。

なお、本研究は日本福祉大学大学院「人を対象とする研究」倫理審査委員会の承認も得る予定である。

8. 研究によって生じる対象者への不利益と医学上の利益または貢献度の予測

本研究は既存の相談記録を用いた研究であり、対象者に対する新たな介入や身体的・心理的負担は生じない。そのため、本研究による直接的な不利益はほとんどないと考えられる。

想定される不利益としては、個人情報の漏えいのリスクが挙げられるが、本研究ではデータの匿名化を行い、厳重な管理体制のもとで取り扱うことで、そのリスクは最小限に抑えられる。

一方、本研究により対象者個人に直接的な医学的利益が生じるものではないが、入院相談における判断の実態や関連要因を明らかにすることで、医療と在宅支援の連携の質の向上に寄与し、将来的に適切な入院支援の提供につながることが期待される。

9. その他

【研究に関するお知らせ(オプトアウト)】

- 当院では、地域包括ケア病棟への入院相談に関する研究を実施しております。
- 本研究は、地域包括ケア病棟への入院相談における入院可否の判断に影響を及ぼす要因を明らかにし、医療と在宅支援の連携のあり方を検討することを目的としています。
- 本研究では、2024 年 7 月から 2024 年 12 月までに当院で受け付けた入院相談に関する記録を対象とし、患者様の基本情報、医療的情報、生活状況、家族状況、入院可否の結果等の既存データを使用します。なお、本研究は過去の記録を用いるものであり、新たな検査や調査をお願いすることはありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化した上で取り扱い、研究目的以外には使用いたしません。また、研究成果は学会や論文等で公表することがありますが、個人が特定されることはありません。
- 本研究へのご協力を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合は、該当するデータを研究対象から除外いたします。

【研究責任者】 三島総合病院病院 医療社会事業専門員 山田 なつ紀

【連絡先】三島総合病院 地域連携室 電話： 055-975-3031

本研究は、三島総合病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。